

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

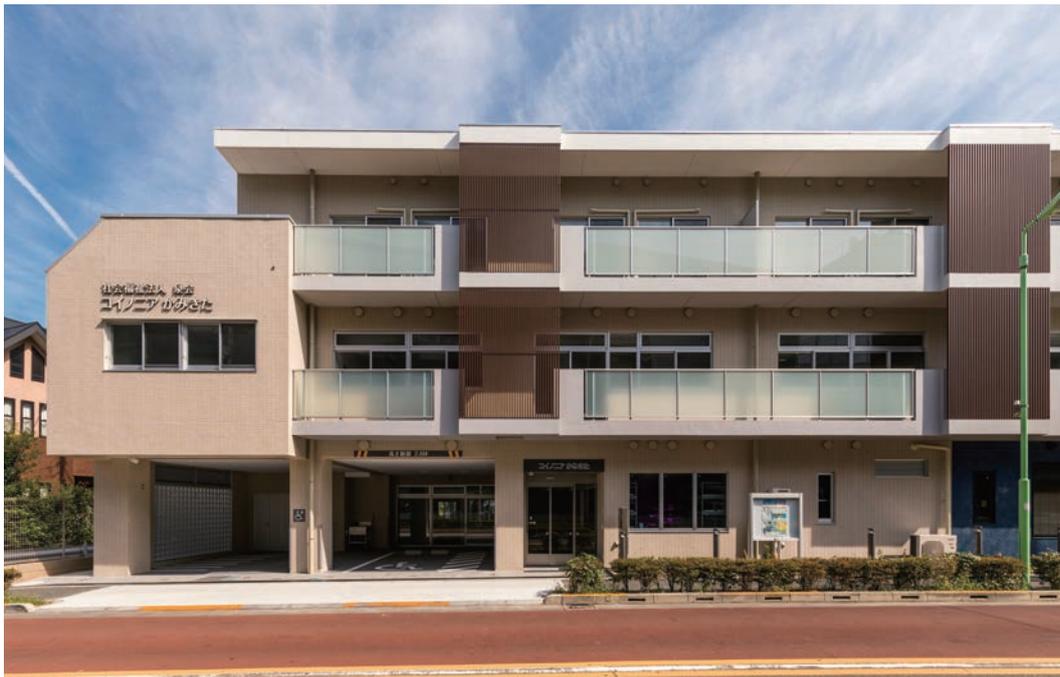
No.
191

2018年12月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一八年十一月六日発行(S S K P通巻第七〇二〇号)



11月1日新規事業所開設!「コイノニアかみきた」

● 本年度の聖句

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めて、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

(『エレミヤ書』29章11節)



「分断」の先に

理事長 佐分利 正彦



アメリカ合衆国では、今年11月をはじめに中間選挙が行われました。この選挙は、トランプ大統領が誕生して2年目にあたり、大統領のこれまでの様々な施策に対する国民からの中間評価としての性格を持っています。

トランプ大統領は就任前から国内に強い意見の対立を生むような言動をとってきたので、この中間選挙もアメリカ国内が「分断」される状況の中で行われているようです。

アメリカでの「分断」は、人種差別、移民排斥、国際的枠組みからの離脱(孤立主義)、自然科学的事実の無視など、様々な側面を持っていますが、弱者への不寛容と多様性への嫌悪が根底にあるように感じます。最近になって、ヨーロッパの数カ国や南米でも同様の動きが活発になっていくことが報道されています。日本でも、気付かないうちにこのような傾向が浸透しているのではないかと、私は危惧しています。弱者への不寛容が、あたかも正義であるかのように語られるようになるその先には、障害者への施策の後退が待っているのではないかと思うからです。

アメリカの最近の様子を見ると、「分断」がある程度以上進んでしまうと、それ以前の状態に戻すことは容易でなく、長い時間と人々の努力が必要になると思われまます。これからの数年間、「分断」がより深刻化するのか、それともいくらかでも「分断」に歯止めが掛けられるのか、強い関心を持って見ていこうと思います。願わくは、「分断」不承認への意思が提示されることを期待しつつ。

各事業所の危機管理への取り組み 災害への備え

世田谷エリア

泉の家

泉の家では1ヶ月に1回は防災訓練を行うよう、年間スケジュールの中に組み込んでいます。いざという時に慌てず、冷静に動くには日頃の訓練の積み重ねが重要だと考えるからです。

災害時対応では世田谷区二次避難所連絡会で協議しながら作成した防災マニュアル（BCP）を基に、8月に図上訓練を行いました。世田谷区と、コンサルタ



岡本町内会防災訓練に参加

ント会社の職員が見学に来ており、緊張感が漂う中で訓練を行い、疑問点や課題等を話し合うことができました。災害を想定し、職員利用者分のヘルメット・寝袋・災害時薬・非常食等防災備蓄品をそろえています。

また、9月には成城消防署員の方に来所いただき、訓練の様子を見てもらつた後、消火器訓練のご指導を仰ぎました。火災発生から初期消火、避難誘導までの流れは「すばらしい、完璧」と評価頂き、職員一同ホッと胸をなでおろしました。（河村 律子）



消火器訓練の様子

岡本福祉作業ホーム

岡本福祉作業ホームでは、福祉避難所防災マニュアルを基に福祉避難所想定訓練を行っています。未曾有の災害を前にどう判断し行動すれば良いのか？職員から「施設が被災した場合、施設が安全なのか？どうかの判断基準は何か？そもそも専門家ではない福祉職員が建物の損壊を判断できるのか？」など不安な声も聞かれました。想像すればするほどマニュアルにはない事象が指摘され



避難訓練の様子①

て職員間での意見が多数飛び交いました。今後は、訓練ができていない場面も確実に実施し、少しでも不安を取り除けるようにして行きたいと思っています。

また避難訓練も工夫をしています。レジュメ通りの決まりきった訓練ではなく、不確かな要因を混ぜながら緊張感のある訓練を実施しています。例えば、当日の避難訓練の際、「出火場所」を事前アナウンスしない形をとるなど、より実践に近い形で行うように心がけています。こちらも意見が多く上がり、意味のある訓練になっています。これからも「災害時の対応」が確実に行われるようにしっかりと準備をして行きたいと思っています。（関口 友則）



避難訓練の様子②

玉堤分場

今年度は、月1回ペースで防災訓練を行っています。内容の充実を図り、職員の危機管理意識が高まっています。地震や火災を想定した具体的なシナリオに沿って職員が役割を担って訓練をしたり、同じ建物内の施設との合同訓練や、福祉避難所としての備蓄品整理も定期的に行っています。他にも担架の使い方を消防署職員にレクチャーしてもらうなど、様々な訓練と活動をしてきました。



備蓄品の使用期限を確認しています

特に「水害」については意識しています。なぜなら事業所の立地が多摩川に近く、建物の地下にあ

るからです。ハザードマップでも水没エリアになつており、多摩川が氾濫したら水沈するリスクを抱えています。地震による津波だけでなく、台風や大雨の情報にも、日々注意をし、水害を想定した避難訓練も実施しました。実際に安全な場所まで避難したら、どのくらいの時間がかかるか計測しています。利用者の方によつて、歩く速度が異なり、15分程かかる場合もあります。移り変わる状況により、建物の上部に上がった避難方法の判断基準や2次避難所として地域においてどのようなことができるかなども検討し、災害に備えるよう取り組んでいます。（細田 隼矢）



訓練中は時間を計測

日の出舎

日の出舎は、自然が豊かな秋川流域にあり、山林に囲まれた傾斜地を700mほど上った所にあります。近年、台風の大規模化、発生数も多くなる中で、日の出舎としては、各施設長、防火管理者とで台風情報に基づき協議を重ね対策を講じています。冠水する場所には土嚢を積み上げ、暴風に対しては危険物を屋内に収納するなど被害が最小限になるよう努めています。また台風通過後は建物周りにから屋上まで点検を行い、被害状況を確認し今後の風水害対策に反映できるように取り組んでいます。そして予測



風水害 避難訓練の様子

不能な地震に対しては、職員、利用者意識の向上を図るため防災訓練・講習を行っています。今年度は、1988年に第3自治会と6施設（当初は3施設）で締結した「災害活動相互応援協定」の防災訓練担当施設となっており、10月21日（日）に秋川消防署・日の出町消防団・第3自治会と6施設の合同で総合防災訓練を実施しました。日の出舎自衛消防隊による初期消火活動に始まり、利用者も参加する避難誘導、自治会長への応援要請からの相互での災害活動・救護活動訓練を行い、日頃の訓練成果を発揮することができました。今後も地域との連携を図れるよう取り組んでいきます。（金縄 勝善）



災害活動相互応援協定での訓練の様子

法人研修の取り組み

人財の確保と課題

今年度、法人では「人財の確保・育成・定着」を重点項目として取り組んでいます。人財の確保は、将来、法人を支えていく世代を確保するため新卒採用者に焦点を充てた取り組みと、定年退職者の経験を活かし若手の人材育成など、新卒者から高齢者まで幅広い年齢構成を視野に入れ進めています。

新卒採用は、この2年間で11名の採用に繋がりましたが、今年は売り手市場で採用につながらない厳しい状況です。8月に新卒採用の契約業者より2019年卒中間総括と次年度に向けた資料が法人に届きました。資料には、泉会の実績・現状分析・対策などがまとめられていますので、今後参考にして取組みます。

さて、最近の学生は何を魅力に感じて企業を選ぶのか、新卒採用に取り組んでいて気になるところで

す。インターネットや情報誌などに

は、学生が注目するポイントとして「自分が成長できる環境」「社員の人間関係が良い」「希望する勤務地で働ける」「福利厚生制度の充実」「技術力がある」等が上げられています。この様に「働きやすい職場の環境や雰囲気良さ」「成長できる仕組み」「やりがいを感じられる」などが仕事を選ぶ基準のようです。

等級役割別研修

当法人では、こうした外部環境への対応や一人ひとりの役割を明確にした役割等級制度、仕事の達成度や取り組み姿勢を評価する評価制度、そして評価を給与や賞与に反映させる賃金制度を再設計しました。そして、役割等級制度の中で等級役割別研修体系を策定し該当する研修を受講し、次の等級へステップアップする仕組みを作りました。

法人研修の取り組み

等級役割別研修体系はこれまでの法人研修を整備し、キャリアパスでの法人研修を整備し、キャリアパス

と連動させ作成しました。

2008年の新人職員研修に法人理念研修が加わり、その後、法人研修分科会で法人研修の仕組みや内容について検討し、2016年度から新たに交換研修(課長補佐)と管理職研修を実施しました。今回は交換研修と管理職研修の取り組みを紹介します。

交換研修

交換研修では、日の出地域の職員と世田谷地域の職員の課長補佐が2泊3日で、始業から終業まで通常業務に入ります。業務の違い、利用者の違いなどを実際に経験し、現場のチーフリーダーとしての経験値を増やし、業務に活かしていくのがねらいです。今年度は、8月1日～8月3日、8月7日～8月9日に4名の職員が参加しましたので感想等を紹介します。

- ①職員名・所属事業所
- ②研修先
- ③良いと思ったこと・学んだこと



①古川 真矢
(就労日の出舎)

②岡本福祉作業ホーム玉堤分場(就労継続支援B型)

③職員同士、常勤非常勤関係なく何でも話せることに驚きました。

企業の探し方や見学・実習など就労支援の話が聞けて勉強になりました。また、研修を通して所属事業所の良いところや強みに気づけました。



①谷垣 幸延
(コイノニアかみきた)

②就労日の出舎(就労継続支援B型)

③就労系の事業経験がなかったので学ぶこと、刺激を受けることが多かったです。利用者が仕事に集中して取り組んでいたことや、利用者がタイムキーパーをするシステムがあり、新事業所でも取り入れたいと思います。



①金縄 勝善
(日の出舎)

②岡本福祉作業ホーム(生活介護)

③利用者打合せは、利用者が進行役

を担っており主体性が高いと思います。利用者に対して言葉遣いが丁寧でした。非常勤、常勤の隔たりがなく利用者支援に支障が出ていなく、対応が自然です。職員打合せにて情報が漏れなく共有できています。



①徳富 聡士
(泉の家、生活介護)

②日の出舎(施設入所支援)
③入所施設での早番・日勤・遅番勤務を経験し、業務の流れや日中活動プログラムの進め方が理解でき、入所施設の勤務体制の大変さを改めて感じました。また、服薬管理の徹底や安全な入浴支援など職員の連携の良さが印象的でした。

管理職研修

管理職研修は、9月8日に岡本福祉作業ホームにて「パワーハラスメント」と「時間外労働や有給休暇」等について研修を行いました。当日、9名の管理職が参加し有意義な研修となりました。参加者からは次のような感想が寄せられています。

(パワーハラスメント)

・パワーハラスメントで自身の行動・言動をチェックし、部下に不快感を与えていないか確認できました。
・ハラスメントの数は30以上あり、不満をためないように風通しの良い職場をつくりたい。

・ハラスメントの予防は自分の行動を客観的に振り返られることです。
・ハラスメントの予防は普段からの職場の雰囲気や人間関係を良好にすることがです。
(時間外労働や有給休暇)

・日本の有給取得率が最下位であることを知りました。
・年間有給取得5日以上の義務化が始まるので念頭に入れ労務管理をします。

・残業で暗黙の指示というキーワードを知ることができました。
今後、法人研修がさらに充実し職員の成長につながるよう取り組みます。

(鈴木 弘士)

就任挨拶



河村 律子

今年10月より泉の家施設長に就任いたしました河村律子です。泉会では岡本福祉作業ホームに13年、泉の家は今年で6年目となります。その前にも特別養護老人ホームで1年、障害者入所施設で3年ほど経験を積ませていただきました。福祉施設で23年間働いてきたことになりました。今振り返れば周りの職員、利用者、支え、支えられながら、時に笑い、時に泣き、そうして歩んだ23年間でした。

岡本福祉作業ホームに13年と書きましたが、実は入職3年で、母親の介護を理由に一度退職しています。1年近く経ち、母親も回復に向かっていたところに、お話を頂きもとの職場に復帰させていただいた次第です。こんな私を再就職させていただいた上、10年以上働かせ

てくださり感謝しています。

その後長く働いた岡本福祉作業ホームから泉の家に異動となりました。不安もありましたが、泉の家で新たに信頼関係を構築できるかどうかは、泉の家での私の働き方次第と考え、懸命に働いてきました。泉の家では毎日が勉強でした。

母親が、くも膜下出血で倒れ、術後3ヶ月たっても意識が戻らず、転院先も見つからず途方にくれていたときです。介護保険の担当者に相談した際に「それは大変でしたね。もう一人で頑張らなくても大丈夫ですよ」と言っていたとき、口ポロ泣き出したのを覚えています。こんな頼りない私ですが、手を差し伸べていただいた分、別の誰かを支えることができたらと、そんな思いを抱きながら施設長として新たに歩みだしていきたいと思います。

まだまだ未熟で勉強不足ではありますが、皆様どうぞよろしくお願い致します。

岡本福祉作業ホーム だより

「施設公開行事を行いました」

9月1日土曜日に、施設公開行事「まるごとおかもと」を今年も行いました。
天気予報は朝から雨で、数日前から利用者も職員も心配していましたが、迎えた当日は曇り空で、小雨が降ったり止んだりしましたが、なんとか大雨にはならず、持ち堪えました。

今年度は「泉の家との福祉機器体験合同スタンプラリー」「岡本フィッシング」「ポッチャ体験」「ピエロのパフォーマンス」と、計4つの新しいコーナーが増え、全てのコーナーにおいてとても盛り上がりつつありました。4つの中では、減多に見られないということもあってか、ピエロのパフォーマンスが利用者からお客様から大好評でした。また、ピエロのパフォーマンスと交代で行われた毎年恒例の利用者によるピアノコンサートも、全公演が満員御礼で、

こちらも大好評でした。製品販売や射的、ポプリ体験などのコーナーも「いらっしやいませー!」「いかがですかー!」という利用者の元気な声や、大勢の方々の楽しげな声で溢れていました。

最後に、ボランティア様、ご家族様、地域の皆様にも多大なるご協力をいただき、また、今年も泉の家と合同で施設公開行事を行えたことに、心より御礼申し上げます。
(松本 清楓)



販売でお披露目した新製品のヒバ!

泉の家だより

「Open the Door」

9月1日(土)毎年恒例の施設公開行事「Open the Door」を行いました。



笑顔で皆様のお出迎え

開催に向けて7月頃から利用者や職員で装飾や各コーナーの準備を進めました。当日は多くのお客様やボランティア様にお越し頂き盛り上がりました。今年も新たに「車椅子体験」を行い、車椅子を利用されている方への理解を呼びかけています。様々な方との地域交流ができました。
(熊王 城二)

玉堤分場だより

「ふたりでひとつの作業を…」

分場の作業は、工程を分割して多くの方が関わるように工夫をしています。さらに1つの工程を複数の方が協力して作業をする試みも行っています。例えば、生地コネ。1コネ(プレインクッキー80袋分)を2つに分割し、さらに容器を支える人、捏ねる人のふたりで協力します。最後は捏ねりリーダーがひとつにまとめて1コネ分に仕上げます。皆が力を合わせることで繁忙期の疲れも分散されます。クッキーの型抜き作業も、型を抜く人、それを受け取り天板に並べる人でペアを組み、ふたりで作業が完成します。
(半澤 恵理)



二人で声掛けあって生地コネ…

日の出エリア施設だより

日の出舎だより

「日の出舎 納涼祭」

日の出舎毎年恒例の納涼祭には、利用者さんご家族や地域の皆様、毎年お手伝いに来て下さっているボランティアの方々まで、数多くの方が参加して下さいました。加えて今年も、日の出舎のクリスマス会でお馴染みのアーティスト「松千」様、常連の太鼓集団「鼓打魔太鼓」様、盆踊りの「みやび会」様、「三和囃子」様にもご参加いただきました。

施設の敷地内いっぱいに並ぶ出店の準備が整い、開催!と同時に、各飲食店が行列で大賑わいとなり、出店の職員に限らず、お客さんまでお手伝い…。また、それと負けずと劣



らないゲームコーナーの人気振り。今年の納涼祭も活気に溢れ、盛況でした。

利用者の方々も、祭りの賑いに乗じて、それぞれに納涼祭を楽しんでいる様子が伺えました。このまま順調に進行するかと思われた矢先に、急な通り雨に見舞われたものの、二重の虹がかかるなどの珍しい現象も発現!虹が私たちを見守るようにして時間は過ぎていき、お祭りもいよいよ終盤へ!!

「鼓打魔太鼓」様の演奏する太鼓の胸打つ鼓動と共に「みやび会」様の可憐な踊りに合わせて盆踊りを踊り、今年の納涼祭を締め括りました。
(常井 洗貴)

就労日の出舎だより

「あお秋祭のとり」

9月24日に数台の車であきる野市乙津にある「コテージ森林村」に向かいました。車で20分、利用者皆さんのワクワク感も徐々に高ま

り、車中のお喋りも「どんなところかな」「お肉をたくさん食べると、にぎやかなこと。緊張感を持って作業を行うのも充実して楽しいのですが、やはりみんなでわいわいやりながらおいしく食べるのも嬉しいのでしょう。普段とは違うみなさんの笑顔にっられて職員もニコニコです。



美味しくいただきました

テーブル数台に分れ、BBQ開始!肉がいい色に焼き上がり、端には野菜を置いていきます。「焼きたてのかぼちゃっておいしいね」と新しい発見もあったようです。しめはやさそばでおなかいっぱい。食後は眼下の川を見て楽しみました。「来年は川のそばでやるのいいね」帰りの車中ではそんな感想も聞かれました。来年のBBQも楽しみます。
(分部 頼文)

グループホーム のぞみだより

「係の仕事」

グループホームのぞみでは、利用者さんの残存機能の維持と自主性・主体性の向上を目的に、利用者さんそれぞれが係を持つて生活をしていきます。役割は利用者さんの得意分野で、ゴミ捨て係、配膳係、節電係、共用部整理整頓係、地域貢献活動係などがあり、自分がどの係を担当するかを選び、責任を持つて係の役割を果たしています。毎月一度の利用者会議では、各係からのお願いや、気付き等を発表してもらいながら係活動をカスタマイズしています。職員に頼るばかりではなく、自分達もできること、得意なことを積極的に行いながら日々頑張る生活を送っています。
(小林 正稔)



利用者会議

『コイノニアかみきた』

11月15日事業開始!!

2015年8月より取り組んでいた都市地活用による地域の福祉インフラ整備事業(世田谷区上北沢一丁目)では、事業内容や建物・備品類・財政面の検討など、新しく事業を開設するために必要なものの全てにおいて、法人の協力の下、世田谷エリア職員が、それぞれ事業ごとにチームを作り、一つひとつ具体的に検討し、必要な時には見学に行き、この度、事業開始する運びとなりました。

建物の設計や構造では、(株)新環境設計様。建築工事では、(株)今西組様。それぞれの福祉分野で、実績のある事業者による建築を行うことができました。事業活動の用途に合わせ、外観や内部の設備について、職員の意見を反映していただき、何度も打ち合わせを重ね、私たちが想い描いた新規事業所の建築ができました。現場を担当し

ていただいた責任者の皆様には、難しい要望にも応えてくださり感謝いたします。

このような立派な事業所を開設できたことは、法人の理念「私たちは信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます」を、泉会職員全員が協力し、目標に向けて一つになれば、たからと実感しています。今後、利用者の方に満足していただける事業所となれるよう、更に切磋琢磨していきますので、皆様のご理解ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

(保坂 俊晴)



南西側より「コイノニアかみきた」

2018年12月～2019年3月各事業所の予定表

| 行事 | 販売会 |
|---------------------------------|--|
| 12月11日(火) 年納会(岡本ホーム) | 12月9日(日) 区民ふれあいフェスタ(岡本ホーム) |
| 12月15日(土) クリスマス会(日の出舎・就労日の出舎) | 12月12・13日(水・木) 多摩産材利用拡大フェア2018(就労日の出舎) |
| 12月29日(土)～1月4日(金) 冬季休暇 | |
| 1月23日(水) 新年会(泉の家) | 1月中旬 世田谷フラ・フェスティバル(泉の家) |
| 2月5日～10日 岡本ホーム作品展:世田谷美術館(岡本ホーム) | 2月3日(日) ひのでスマイルフェスティバル(就労日の出舎) |
| 2月23日(土) 地域とともに(玉堤分場) | 2月～3月 せたがや梅まつり(泉の家・岡本ホーム) |
| 3月8日(金) 玉川支援ネット交流会(玉堤分場) | 3月中旬 砧地域こ近所フォーラム(泉の家) |
| 3月27日(水) お花見(泉の家) | |
| 3月28日(木) 成城音楽祭(泉の家・岡本ホーム・玉堤分場) | |

* 社会福祉法人 泉会 *

| | | | |
|------------------|---|-----------------------------------|---|
| 法人本部 泉の家 | 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp | コイノニア かみきた グループホーム こいのにあ | 〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号 ☎03(5316)2251 ☎03(5316)2252 koinonia@izumikai.jp |
| 岡本福祉 作業ホーム | 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp | 日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎 | 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org |
| 相談支援センター おかもと | (岡本福祉作業ホーム内) soudan-okamoto@izumikai.jp | グループホーム のぞみ | 〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609 |
| 玉堤分場 | 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatutumi@izumikai.jp | | |

編集後記

利用者の方々との関わりや表情からいつも元気を頂いています。そんな日常を次号でもお伝えしたいと思います。クリスマスの日を思いつつ。 玉堤分場 半澤